



金城睦二さん・禮子さん、
平良次悦さん・奈月さん ご家族

家族・地域で支え合う「三世代の暮らし」



眺望の良い庭にはバスケットコート。2階で平良さん親子、1階で親世代の金城さん夫妻が暮らす。

住環境の改善でUターン

大里グリーントウンは1970年代後半に造営された住宅地。高齢化が進行していた中、ここ数年は成長した子ども世代が親世代と同居・近居で住むケースが増えています。

平良次悦さん・奈月さん家族は、奈月さんの両親である金城睦二さん・禮子さん夫妻と二世帯住宅で暮らしています。

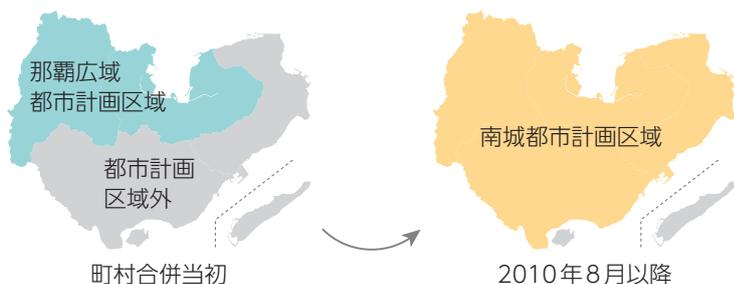
以前は隣のアパートで暮らしていましたが、子どもの「おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に住みたい」という言葉が発端となり、平屋だった実家を2階建てに建て替え。三世代の暮らしが始まりました。子どもたちのお迎えは睦二さんと禮子さんがサポート。

「商業施設も増えて、だいぶ住みやすくなりました。地域には顔なじみの子育て世代が多いので、いろいろと相談できるのも地元で住み続けるメリットですね」(奈月さん)

家族や地域で助け合って暮らす三世代スタイル。持続可能な地域づくりの、ひとつのアイデアとなっています。

Over the last few years, it has been increasingly popular for children, instead of moving away when they grow up, to live with or near their parents. This is due partly to the development of commercial facilities and other residential amenities. The plan is to create sustainable neighbourhoods where people can interact and help each other with their families.

一体的な都市計画への移行



人口の推移

(各年3月31日時点)



若い世代の定住促進



結婚新生活支援

新婚生活を始めるための住居費、住宅リフォーム費用、引越し費用の一部を支援



三世帯同同居支援

三世帯同同居を目的とした引越し費用、住宅の新築・増改築費用等を補助



住宅ローン金利優遇

フラット35と連携し、三世帯支援の対象者は10年間の金利を年0.25%引き下げ

人口増加への転換

町村合併以前より、旧佐敷町・旧大里村は那覇広域都市計画区域に組み込まれていました。都市拠点として可能性がある地域ですが、その96%が市街化調整区域となっており、開発に対して厳しすぎる規制がかけられていました。

一方、旧玉城村・旧知念村は都市計画区域外となっており、風光明媚な土地にもかかわらず、無秩序な開発が抑制されていない状態にありました。

本市は一体的なまちづくりを進めるため、那覇広域都市計画を離脱。奥武島と久高島を除く市全体を単独の都市計画区域とし、本市の主体的な土地利用が可能になり、開発と保全を両立させるまちづくりがスタートしました。

その結果、佐敷・大里地域で戸建や集合住宅などの宅地開発が進展。商業施設も増えるなど、住環境が向上しています。

現在、それまで住宅供給不足や住環境の不安から定住できなかった出身者がUターンし、人口増加に向けた好循環が生まれています。



左/佐敷地域・国道331号沿い。海岸沿いに宅地が造成され、商業施設や総合病院が立地。右/大里地域・県道77号線沿い。商業施設の立地に伴い、集合住宅や宅地造成が進んだ。

When Nanjo City was first established, development was strictly regulated in some areas. But then, when Nanjo began autonomous urban planning in 2010, the population began to grow. Subsidies and preferential housing loans are offered to residents with three generations living together.



稲福剛治さん・麻里さん ご家族

ほどよい田舎を楽しむ「自然のある暮らし」



住居は1990年代に建てられたマンションの一室をリノベーション。温もりのあるインテリアが心地よい。

良いも悪いも受け入れる

玉城の海岸近く、マンションの一室をセンス良くリノベーションして暮らしている稲福剛治さん・麻里さん家族。

「徒歩でビーチに行けて、朝日や夕日を見られる場所。昔ながらの商店や街並みが残っているのも魅力です。難点は潮風が強いことかな。良いも悪いも自然の産物ですから、受け入れて楽しんでいます」(剛治さん)

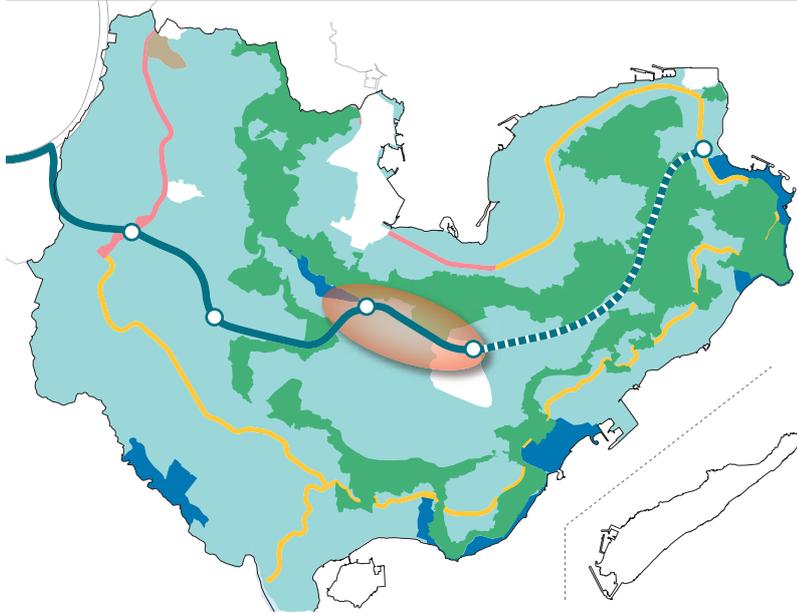
剛治さんが営む宿「姉と弟の家」は、自然の中にたたずみ、沖縄の暮らしが味わえると口コミで人気の宿。職場が住居に近いので、都心に出る必要性も少ないとのこと。

「とは言え、自然が多いわりに都心からそう遠くないことも南城のメリット。車で10分程の距離に商業施設もあるし、ほどよく田舎で、不便はそれほど感じません」(麻里さん)

のんびりした地域性も、子育てしやすい環境のひとつ。子どもたちは自然学校にも通い、森の体験も楽しんでいるとのこと。南城の海と森が、家族の笑顔を育んでいます。

Nanjo's natural environment and relaxed nature make it an attractive place for young families to bring up children. Another reason for the city's popularity is that, in addition to its rich natural environment, it is close to Naha, Okinawa's main city. Many families live in old houses that have been tastefully renovated.

特定用途制限地域と風致地区の指定状況



- | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  先導的都市拠点 | 特定用途制限地域 |
|  風致地区 |  居住環境保全地区 |
| 南部東道路 |  リゾート環境地区 |
|  整備中 |  幹線道路沿道地区農村型 |
|  計画予定 |  幹線道路沿道地区市街地型 |
|  インターチェンジ |  産業環境地区 |

開発と保全の両立

豊かな丘陵と美しい海岸を有する南城市。開発に偏らず、広範囲で「特定用途制限地域」と「風致地区」を指定することで、貴重な自然景観を保全しています。

特定用途制限地域では、5つの地域に区分し、用途に応じて周辺環境への影響が心配される工場や遊戯施設、風俗施設の立地を制限しています。

風致地区は、建築物に対し、周辺の自然景観と調和するような仕様を義務づける制度です。本市では風致地区を第1種・第4種の2つのレベルで指定し、建築物の高さや敷地に占める緑地率を義務づけています。

また、自然豊かな市東部において生活の利便性を担保することも重要です。将来都市構造では、那覇空港自動車道に連結する高規格道路「南部東道路」(一部開通)を都市横断交通軸として、東西の移動を支えることとしています。併せて市中央部を先導的都市拠点とし、公共交通・防災・ウェルネスなど多様な拠点機能の集積を図っており、商業施設の開業も予定されています。



左/玉城地域。田園風景に情緒豊かな集落が点在。奥武島や海沿いのカフェがドライブコースとして人気。右/知念地域。世界文化遺産・斎場御嶽を擁する丘や、透明度の高いビーチなど、リゾート地として認知度を高めている。

Nanjo City has preserved its valuable natural landscape by designating 'specific use restricted areas' and 'scenic areas'. It also strives to ensure the convenience of the nature-rich eastern part of the district by building the Nanbu-Higashi Road and vital urban centers.